

肝臓癌から腹水の70代 女性

先日はいろいろとアドバイスを頂き、ありがとうございました。残念ながら急激に容態が悪化し、せっかく早々と届けて頂いたにも関わらず本人には飲ませられないまま数日のうちに他界する結果となりました。もう少し早く見つけてご相談していればと思うと残念です。しかしながら、頂いた丁寧かつ親身な助言や励ましは私ども家族にとって大きな励みや希望となりました。大変感謝いたしております。ぜひ宣伝していただいて、少しでも患者さんや私たちのような家族の力になって頂ければと思います。ご発展を心よりお祈りいたします。

東京都 69歳 男性 N・Y 様

■ご相談内容

C型肝炎から肝硬変へとなり、1ヶ月前から腹水の症状が現れる。

現在、お腹の張り、下半身の浮腫、排尿量減少、食欲低下、皮膚の痒みがあり、便秘（3日に1回・少量）であり、そのため腹水の不快症状を改善し、食欲を出させてあげたいとのご家族の要望があったので、腹水対策の漢方をご提案をする。

■腹水の漢方対策前

WBC	RBC	HB	PLT	ALB	T-BIL	CHE	CRP
3600	296	8.6	5.4	2.9	1.7	81	0.92

■腹水の漢方対策～15日目

WBC	RBC	HB	PLT	ALB	T-BIL	CHE	CRP
3650	302	8.8	5.1	3.1	1.9	84	0.98

開始から15日、「CHEの上昇」「ALB（アルブミン）の上昇」「RBC（赤血球）の上昇」「HB（ヘモグロビン）」が顕著に見られる。排尿量が増え、下半身の浮腫が軽減、便通もよくなる

■腹水の漢方対策～30日目

WBC	RBC	HB	PLT	ALB	T-BIL	CHE	CRP
4250	321	9.4	5.0	3.5	1.4	96	0.62

開始から30日、「CHEさらに上昇」結果、「ALB（アルブミンの一気に増加）」「T-BIL（ビリルビン低下）」結果、「CRP（炎症反応）の低下」も確認される。腹水・浮腫がほぼ消失し、その結果、食事量が増える。便通も1日1回になり、ビリルビンの数値も低下、皮膚の痒みも軽減する。

大阪府 63歳 女性 K・M 様

■ご相談内容

大腸がん→ 癌の肝臓への転移 → 腹水が出てつらいとのご相談。

2ヶ月前から腹水の症状が現れ、3日に1回「腹水穿刺」をしている状態。腹部の張りが強く、排尿量・排便量が減少、食欲も低下、息切れ、手足のしびれあり。

そのため、腹水対策の漢方をご提案をする。

■腹水の漢方対策前

WBC	RBC	HB	PLT	ALB	TP	CHE	CRE	CRP
3900	223	7.8	13.3	2.0	5.8	80	0.91	3.85

■腹水の漢方対策～15日目

WBC	RBC	HB	PLT	ALB	TP	CHE	CRE	CRP
4250	233	7.9	12.0	2.2	6.0	88	0.88	2.1

開始から15日、「TP（総タンパク）・ALB（アルブミン）やや上昇」「CRP（炎症反応）に低下」いい方向に向かいだした。排尿量・排便量が一気に増え、腹水が引き始める。手足のしびれがほぼ無くなる。

■腹水の漢方対策～30日目

WBC	RBC	HB	PLT	ALB	TP	CHE	CRE	CRP
4950	266	8.2	10.2	2.8	6.2	111	0.9	0.88

開始から30日、「CRP（炎症反応）が一気に低下」「CHE値の上昇」「ALB（アルブミン）の増加」肝臓の栄養数値の改善。今まで、3日に1回腹水穿刺を行っていたが、10日に1回になる。食事量も増え、排尿量・排便量がさらに増えた。息切れなどの症状もほぼ改善したとのご報告を頂きました。

腹水(肝硬変)のご相談

東京都にお住まいのWさん(62歳・男性)

ご相談されたときの症状・状態

肝硬変による腹水でご相談。

ご相談時の血液検査データの状態

肝機能	T-BIL	2.0↑
栄養数値	ALB	2.4↓
	CHE	107 ↓
肝機能数値	AST	215 ↑
	ALT	99↑
	γGT P	989 ↑
腎機能	CRE	1.17 ↑

肝臓が悲鳴を上げている状態で、腹水を貯留しているように感じました。

ご提案及び漢方のアドバイス

肝臓の機能を向上する漢方薬1つ

代謝や血液のめぐりを良くする漢方薬1つ

腎機能を向上する漢方薬1つ

栄養を補うサプリメント1つ

変化が見られ始めた時期：3ヶ月目

お客様の变化

肝機能	T-BIL	0.6 (正常)
栄養数値	ALB	3.9 (正常)
	ChE	212 (正常)
肝機能数値	AST	21 (正常)
	ALT	12 (正常)
	γ GTP	49 (正常)
腎機能	CRE	1.06 (正常)

担当の医師から「よくなったね」と言われたとのこと。また、お酒を控えるようにして、3か月くらいはノンアルコールで過ごしていたとのこと。相乗効果もあり。

担当スタッフより

ご提案内容が非常に良かった例ではないかなと思います。腎機能が正常化したので、腎機能を向上する漢方薬は止めていただきました。

腹水(肝硬変)のご相談

北海道にお住まいのTさん(52歳・男性)

ご相談されたときの症状・状態

肝硬変～腹水が発症。現在、お腹の張り・下半身の浮腫・黄疸あり。黄疸の症状も強く、全身の痒みも強い。排便が、4日に1回しかでない。

ご相談時の血液検査データの状態

肝機能	T-BIL	4.8
栄養数値	ALB	2.9
	CHE	72
炎症の数値	CRP	6.6
赤血球	RB C	297

ご提案及び漢方のアドバイス

血流を向上する漢方薬
肝硬変・黄疸に伴う体内の炎症を抑える漢方薬
解毒力を高める漢方薬
水分代謝を向上する漢方薬

改善期間：3ヶ月

変化が見られ始めた時期：1ヶ月目

お客様の变化

お腹の張り・下半身の浮腫が軽減した。
排便が安定し、全身の痒みが軽減してきた。

肝機能	T-BIL	4.8→2.1まで低下
栄養数値	ALB	2.9→3.3まで上昇
	CHE	72→110まで上昇
炎症の数値	CRP	6.6→1.45まで低下
赤血球	RB C	297→343まで上昇

お客様より

漢方薬を服用する前は、お腹の張り症状も辛かったですが、何より、黄疸による全身の痒みが本当にストレスになっておりました。しかし、漢方薬を服用して、最初は効果を実感できませんでしたが、続けていると、排便が4日に1回だったのが、毎日できるようになり、そこから痒みも一気に軽減してきました。
その後、排尿量も増え、お腹の張り・下半身のむくみも随分と楽になってきました。
お蔭様で、仕事にも復帰する事ができました。
本当にありがとうございました。これからも漢方薬の服用は続けて行きますので、今後とも宜しくお願いいたします。

腹水(肝臓病)のご相談

千葉県にお住まいのYさん(お母様のことでご相談)

ご相談されたときの症状・状態

C型肝炎からの肝硬変で、腹水の症状。

ほかには、糖尿病、高血圧、白内障。

胆のうを摘出。腎機能が低下しており、利尿剤も効かず、透析の可能性があると言われていた。

病院のおくすりを10種類ほど服用している。

ご提案及び漢方のアドバイス

血流改善の漢方薬1つ

腎機能のエネルギーを補う漢方薬1つ

改善期間：4ヶ月

変化が見られ始めた時期：10日目

お客様の变化

腹水で58キロあった体重が46キロにまで減少されました。

むくみも取れて、おなかも健康な人と変わらないほどの大きさになり、病院の担当の先生も驚いており、退院が決まりました。

担当スタッフより

すぐにむくみが取れたことで、ご本人さまが大分楽になったこと、そして退院することができて本当によかったと思います。

おうちに帰れるというのは、患者さまの気力の面でもプラスに働きますので、その後の病院治療をスムーズに進められたのではないかなと思います。

腹水(肝臓病)のご相談

鹿児島県にお住まいのTさん(58歳・男性)

ご相談されたときの症状・状態

B型肝炎から肝硬変、肝臓癌に悪化し、腹水の症状が出始めた。
排尿も排便もでていますが、食欲は殆どない。
水分を良く飲み、冷えが強い。
抗がん剤をずっとされていたが、身体がひどくだるいので現在は中断している。
お腹まわりだけむくんでいる状態で、張ってはいない。
病院のおくすり6種ほど服用中。

ご提案及び漢方のアドバイス

抗炎症、解毒、免疫に効果のある漢方薬2つ
活性酸素を含む健康食品1つ

改善期間：1年2ヶ月

変化が見られ始めた時期：5日目

お客様の变化

腹水でご飯が食べられず、食べても胃の不快感が激しかったそうですが、5日目ごろから腹水が抜けて身体の火照りがとれ、ご飯をおいしく食べられるようになりました。
その後、2週間目で血液検査の数値(GOT(AST)・GPT(ALT)・ γ -GTP・T-bil)が減少されました。
様子を見ながら2か月目ごろからは、免疫中心のご提案をご提案しました。
3か月目ごろには、血液検査の数値も安定するようになった上、お仕事も始められました。

担当スタッフより

肝臓癌による腹水ということで、最初に腹水の不快感を改善し、ご飯を食べられるようになって身体に栄養を蓄えて、安定させることを目指しました。
その後、潰瘍や手術とさまざまなことが重なり、体調が悪化したり良くなったりを繰り返すようになりました。
その時々に応じてご提案の変更をし、体調が安定するように心がけました。
患者さまご本人もご家族の方も病に負けず頑張られた結果、退院の予定が立って本当によかったです。

腹水(肝硬変)のご相談

東京都にお住まいのWさん(62歳・男性)

ご相談されたときの症状・状態

肝硬変による腹水でご相談。

ご相談時の血液検査データの状態

肝機能	T-BIL	2.0↑
栄養数値	ALB	2.4↓
	CHE	107 ↓
肝機能数値	AST	215 ↑
	ALT	99↑
	γGT P	989 ↑
腎機能	CRE	1.17 ↑

肝臓が悲鳴を上げている状態で、腹水を貯留しているように感じました。

ご提案及び漢方のアドバイス

肝臓の機能を向上する漢方薬1つ

代謝や血液のめぐりを良くする漢方薬1つ

腎機能を向上する漢方薬1つ

栄養を補うサプリメント1つ

変化が見られ始めた時期：3ヶ月目

お客様の变化

肝機能	T-BIL	0.6 (正常)
栄養数値	ALB	3.9 (正常)
	ChE	212 (正常)
肝機能数値	AST	21 (正常)
	ALT	12 (正常)
	γ GTP	49 (正常)
腎機能	CRE	1.06 (正常)

担当の医師から「よくなったね」と言われたとのこと。また、お酒を控えるようにして、3か月くらいはノンアルコールで過ごしていたとのこと。相乗効果もあり。

担当スタッフより

ご提案内容が非常に良かった例ではないかなと思います。腎機能が正常化したので、腎機能を向上する漢方薬は止めていただきました。

腹水(肝硬変)のご相談

北海道にお住まいのTさん(52歳・男性)

ご相談されたときの症状・状態

肝硬変～腹水が発症。現在、お腹の張り・下半身の浮腫・黄疸あり。黄疸の症状も強く、全身の痒みも強い。排便が、4日に1回しかでない。

ご相談時の血液検査データの状態

肝機能	T-BIL	4.8
栄養数値	ALB	2.9
	CHE	72
炎症の数値	CRP	6.6
赤血球	RB C	297

大腸がん～肝臓転移～腹水に。

現在、利尿剤・アルブミン製剤を使用しているが、大きく変化なし。

健康食品で、フコイダン・AHCCなどを服用中。

腹水の影響で、腹部の痛みがあり、息苦しさも強く、食事や水分も殆ど摂れていない状態。

排尿量が**1日で300CC～500CC**くらい。

ご相談時の血液検査データ

腎機能	CRE	2.2
	BUN	52
炎症の数値	CRP	2.6
栄養数値	ALB	2.8
	リンパ球	10.0

利尿剤の長期服用で、腎臓の機能も低下し、現在、CREが2.2・BUN 52まで上昇している。

ご提案及び漢方のアドバイス

免疫力を向上する漢方薬

癌に伴う体内の炎症を抑える漢方薬

血液の質を整え血流を向上する漢方薬

腎機能を向上し水分代謝を高める漢方薬

改善期間：3ヶ月

変化が見られ始めた時期：2週間目

お客様の变化

腹部の痛み、息苦しさが軽減してきた。

腹水が軽減し、食事や水分量が増えてきた。

排尿量が増えてきた。

3ヶ月漢方薬を継続した血液検査データ

腎機能	CRE	2.2→1.5まで低下
	BUN	52→39まで低下
炎症の数値	CRP	2.6→1.7まで低下
栄養数値	ALB	2.8→3.4まで上昇
	リンパ球	10→18まで上昇

お客様より

漢方薬を服用する前は、腹水で体重が55kgもありましたが、現在は、52kgまで減りました。排尿量も増えてきましたので、今は、利尿剤の服用も中止しております。

お蔭様で、食事もしっかり摂れるようになり、疲れも随分と楽になりました。本当にありがとうございます。

胸水・腹水(大腸癌～肝臓転移による)のご相談

愛知県にお住まいのTさん(71歳・男性)

ご相談されたときの症状・状態

大腸がんで、肝臓に転移

1ヶ月前から腹水・胸水・むくみが発症

現在、お腹・下半身がパンパン状態で、身動きが殆ど取れない状態

食事も中々摂る事ができず、水分も少量しか飲むことができない

胸水もあるため、息苦しさもかなり強く、咳がとても酷い状態

ご提案及び漢方のアドバイス

腎機能を高め、体内の水分代謝を向上させる漢方薬1つ

癌に伴う炎症を抑制する漢方薬1つ

血流の質を整え、循環をよくする漢方薬1つ

肝細胞活性化のための必須栄養素群1つ

改善期間：腹水、胸水、浮腫がほぼなくなったのは、服用開始から2ヶ月後

変化が見られ始めた時期：1カ月半

お客様の变化

最初は胸水が軽減し、息苦しさ・咳の症状が軽減してきた
排尿量・排便量が増えてき
腫瘍マーカーの数値が下がってきた

お客様より

服用を開始して、1ヶ月間は全くといっていいほど大きな変化はありませんでした。

しかし、1ヶ月過ぎてくらいから、胸水が軽減しだし、一番悩んでおりました、息苦しさや咳の症状が殆どなくなってきました。

お蔭様で、食事美味しくいただけるようになっていきます。本当にありがとうございます。

腹水(肝臓癌)のご相談

大阪府にお住まいのKさん(お母様のことでご相談)

ご相談されたときの症状・状態

C型肝炎から肝硬変、そして肝臓癌に。肝臓癌の摘出手術を数回受けている。
手術のおかげでガンはとれたものの、不快症状が生じている状態。
体力低下、身体のだるさ、こむら返り、手足を動かすスピードがとてもゆっくり。
今のところ、腹水はない。
病院のおくすり9種ほど服用している。

ご提案及び漢方のアドバイス

血流改善の漢方薬1つ
肝臓のエネルギーを補う漢方薬1つ

改善期間：2ヶ月

腹水(肝硬変)のご相談

東京都にお住まいのWさん(62歳・男性)

ご相談されたときの症状・状態

肝硬変による腹水でご相談。

ご相談時の血液検査データの状態

肝機能	T-BIL	2.0 ↑
栄養数値	ALB	2.4 ↓
	CHE	107 ↓
肝機能数値	AST	215 ↑
	ALT	99 ↑
	γGT P	989 ↑
腎機能	CRE	1.17 ↑

肝臓が悲鳴を上げている状態で、腹水を貯留しているように感じました。

ご提案及び漢方のアドバイス

肝臓の機能を向上する漢方薬1つ

代謝や血液のめぐりを良くする漢方薬1つ

腎機能を向上する漢方薬1つ

栄養を補うサプリメント1つ

変化が見られ始めた時期：3ヶ月目

お客様の变化

肝機能	T-BIL	0.6 (正常)
栄養数値	ALB	3.9 (正常)
	ChE	212 (正常)
肝機能数値	AST	21 (正常)
	ALT	12 (正常)
	γ GTP	49 (正常)
腎機能	CRE	1.06 (正常)

担当の医師から「よくなったね」と言われたとのこと。また、お酒を控えるようにして、3か月くらいはノンアルコールで過ごしていたとのこと。相乗効果もあり。

担当スタッフより

ご提案内容が非常に良かった例ではないかなと思います。腎機能が正常化したので、腎機能を向上する漢方薬は止めていただきました。

腹水(肝硬変)のご相談

北海道にお住まいのTさん(52歳・男性)

ご相談されたときの症状・状態

肝硬変～腹水が発症。現在、お腹の張り・下半身の浮腫・黄疸あり。黄疸の症状も強く、全身の痒みも強い。排便が、4日に1回しかでない。

ご相談時の血液検査データの状態

肝機能	T-BIL	4.8
栄養数値	ALB	2.9
	CHE	72
炎症の数値	CRP	6.6
赤血球	RB C	297

お客様の变化

腹囲が10cm減少し、腹水の不快感が軽減された。
食欲が向上し、寝たきりだったのがお仕事に行かれるまでに。

担当スタッフより

食欲が低下気味でしたので、腹水の不快感を解消し、まずは食欲を回復してもらうことを第一に考えました。

順調に腹水の不快感が改善し、食欲が向上したことによって、口から栄養がきちんと取れ、余命宣告を受けていたにも関わらず、お仕事に復帰されるまでに体調がよくなり、本当によかったと思います。

そのような患者さまを見ていると、自分の中にあるプラス(陽)の「気」が自己免疫機能を高めてくれ、豊かな余生を作り上げていくのではないかと思います。

腹水（膵臓がん～肝臓がん）のご相談

山口県にお住まいのSさん(72歳・女性)

ご相談されたときの症状・状態

膵臓から肝臓に癌が転移し、腹水が貯留

腹水の影響で息苦しい、食事も3分の1程度しか摂れない状態

病院からは腹水穿刺を勧められてるがデメリットが多いため抜きたくないとの事でご相談。

ご提案及び漢方のアドバイス

体内の炎症を抑制し解毒を即す漢方

肝臓の栄養状態を高め肝機能を向上させる漢方

血液の質や循環を整え全身の血流量を高める漢方

エネルギー代謝の向上を図り新陳代謝を高める漢方

改善期間：1ヶ月

変化が見られ始めた時期：1週間目

●腹水 年齢 54歳 男性

お手紙届きました。お心遣い有り難うございます。

今のところ腹水の症状は出ておらず、

入院時88kgあった体重も65kg前後を維持しています。

腹部の張りもなくなり、下半身のむくみもほとんどありません。

おかげさまで、体調は(持病がありながらも、日常生活に支障がない範囲内で)

良好です。もう、しばらく服用を続けさせて頂きますので、宜しくお願いします。

※上記のお客様の声は効果・効能を保証するものではありません。

疾患：腹水（癌） 75歳 男性

こんにちは。父件でお世話になっております。

父はその後順調に回復し、先週撮ったC Tの画像でも患部がきれいになっていたとのことで、

無事腹水をとるための管もとれ、ここ数日は近所ではありますが、外出もできるようになりました。

食欲も出て、正直なところわずか3週間余りでここまで急激に元気になるとは思いませんでした。

漢方が効いているんですね。本当にありがとうございます。

※上記のお客様の声は効果・効能を保証するものではありません。

●肺腺癌～胸水 東京都 Yさま 67歳 男性

父の件でお世話になっております。ご提案をいただいた漢方を服用して1ヶ月半が経ちましたので経過のご連絡を致します。結果としては大変よく、症状も安定しております。相談前に穿刺してもらいましたが今のところ再貯留はないと医師に言われました。父も大変喜んでおります。現在抗がん剤治療と併用しておりますが、漢方のおかげで副作用も軽く済んでおります。(軽く吐き気は訴えておりますが・・・)経過は良いのでこのまま同じ内容で様子を見てもよろしいでしょうか?恐れ入りますがご連絡をお待ちしております。

●癌・腹水～足の浮腫み 秋田県 U 様 男性

腎機能	CRE	1.06 (正 常)
-----	-----	---------------

担当の医師から「よくなったね」と言われたとのこと。また、お酒を控えるようにして、3か月くらいはノンアルコールで過ごしていたとのこと。相乗効果もあり。

担当スタッフより

ご提案内容が非常に良かった例ではないかなと思います。腎機能が正常化したので、腎機能を向上する漢方薬は止めていただきました。

腹水(肝硬変)のご相談

北海道にお住まいのTさん(52歳・男性)

ご相談されたときの症状・状態

肝硬変～腹水が発症。現在、お腹の張り・下半身の浮腫・黄疸あり。
黄疸の症状も強く、全身の痒みも強い。排便が、4日に1回しかでない。

ご相談時の血液検査データの状態

肝機能	T- BIL	4.8
栄養数値	ALB	2.9
	CHE	72
炎症の数 値	CRP	6.6
赤血球	RB C	297

ご提案及び漢方のアドバイス

血流を向上する漢方薬
肝硬変・黄疸に伴う体内の炎症を抑える漢方薬
解毒力を高める漢方薬
水分代謝を向上する漢方薬

改善期間：3ヶ月

変化が見られ始めた時期：1ヶ月目

お客様の变化

お腹の張り・下半身の浮腫が軽減した。
排便が安定し、全身の痒みが軽減してきた。

肝機能	T-BIL	4.8→2.1まで低下
栄養数値	ALB	2.9→3.3まで上昇
	CHE	72→110まで上昇
炎症の数値	CRP	6.6→1.45まで低下
赤血球	RB C	297→343まで上昇

お客様より

漢方薬を服用する前は、お腹の張り症状も辛かったです、何より、黄疸による全身の痒みが本当にストレスになっておりました。しかし、漢方薬を服用して、最初は効果を実感できませんでしたが、続けていると、排便が4日に1回だったのが、毎日できるようになり、そこから痒みも一気に軽減してきました。

その後、排尿量も増え、お腹の張り・下半身のむくみも随分と楽になってきました。お蔭様で、仕事にも復帰する事ができました。

本当にありがとうございました。これからも漢方薬の服用は続けて行きますので、今後とも宜しく願いいたします。

腹水(肝臓病)のご相談

千葉県にお住まいのYさん(お母様のことでご相談)

ご相談されたときの症状・状態

C型肝炎からの肝硬変で、腹水の症状。

ほかには、糖尿病、高血圧、白内障。

胆のうを摘出。腎機能が低下しており、利尿剤も効かず、透析の可能性があると言われていた。

病院のおくすりを10種類ほど服用している。

ご提案及び漢方のアドバイス

血流改善の漢方薬1つ

腎機能のエネルギーを補う漢方薬1つ

改善期間：4ヶ月

変化が見られ始めた時期：10日目

お客様の变化

腹水で58キロあった体重が46キロにまで減少されました。

むくみも取れて、おなかも健康な人と変わらないほどの大きさになり、病院の担当の先生も驚いており、退院が決まりました。

担当スタッフより

すぐにむくみが取れたことで、ご本人さまが大分楽になったこと、そして退院することができて本当によかったと思います。

おうちに帰れるというのは、患者さまの気力の面でもプラスに働きますので、その後の病院治療をスムーズに進められたのではないかなと思います。

腹水(肝臓病)のご相談

鹿児島県にお住まいのTさん(58歳・男性)

ご相談されたときの症状・状態

B型肝炎から肝硬変、肝臓癌に悪化し、腹水の症状が出始めた。

排尿も排便もでているが、食欲は殆どない。

水分を良く飲み、冷えが強い。

抗がん剤をずっとされていたが、身体がひどくだるいので現在は中断している。

お腹まわりだけむくんでいる状態で、張ってはいない。

病院のおくすり6種ほど服用中。

ご提案及び漢方のアドバイス

抗炎症、解毒、免疫に効果のある漢方薬2つ

活性酸素を含む健康食品1つ

改善期間：1年2ヶ月

変化が見られ始めた時期：5日目

お客様の变化

腹水でご飯が食べられず、食べても胃の不快感が激しかったそうですが、5日目ごろから腹水が抜けて身体の火照りがとれ、ご飯をおいしく食べられるようになられました。

その後、2週間目で血液検査の数値(GOT(AST)・GPT(ALT)・ γ -GTP・T-bil)が減少されました。

様子を見ながら2か月目ごろからは、免疫中心のご提案をご提案しました。

3か月目ごろには、血液検査の数値も安定するようになった上、お仕事も始められました。

担当スタッフより

肝臓癌による腹水ということで、最初に腹水の不快感を改善し、ご飯を食べられるようになって身体に栄養を蓄えて、安定させることを目指しました。

その後、潰瘍や手術とさまざまなことが重なり、体調が悪化したり良くなったりを繰り返すようになりました。

その時々に応じてご提案の変更をし、体調が安定するように心がけました。

患者さまご本人もご家族の方も病に負けず頑張られた結果、退院の予定が立って本当によかったです。

腹水(肝硬変)のご相談

東京都にお住まいのMさん(50歳・男性)

ご相談されたときの症状・状態

20年前にC型肝炎を発症。

腹水の症状もあるが、まだ本格的な段階までは至っていない状態。

病院からは肝硬変と言われていないようだが、肝硬変の疑いがおおいにある。

排尿はあるが、少し便秘気味。

食欲は少しだけある、水分はとれている。微熱がある。

ご提案及び漢方のアドバイス

血流系の漢方薬1つ

利尿を促す漢方薬1つ

改善期間：4ヶ月

変化が見られ始めた時期：2週間目

お客様の变化

排尿症状が改善し、病院の利尿剤を中止されました。

腹水がほとんど抜けました。身体の疲れがとれ、楽になりました。

血液検査の数値も安定して、元気になったご様子でした。

担当スタッフより

腹水がまだ、本格的な段階に至っていなかったこともあり、不快感に対して効果が早めにあらわれ、比較的早く腹水の不快症状が改善されました。

腹水(膵臓癌による)のご相談

東京都にお住まいのTさん(72歳・男性)

ご相談されたときの症状・状態

膵臓癌が進行し、腹水が溜まっている。

腹水の影響で、お腹の張りが強い。

食事・水分量が通常の3分の1しか摂れない状態。

利尿剤を服用しても、**排尿量は1日500CC~600CCくらい**しかでない。

ご相談時の血液検査の状態

ALB(アルブミン)の数値が2.6と低め

CRP定量の数値は4.62まで上昇

ご提案及び漢方のアドバイス

エネルギー代謝を向上する漢方薬

癌に伴う体内の炎症を抑える漢方薬

体内の栄養状態を整える健康食品
血流・水分代謝を向上する漢方薬

改善期間：2ヶ月半

変化が見られ始めた時期：2週間目

お客様の变化

漢方薬の服用を開始して、排尿・排便量が増えた。
また、お腹の張りが軽減。

血液検査の数値

ALB 2.6 → **3.2まで上昇**

CRP 4.62 → **2.1まで低下**

お客様より

採血の結果も詳しくご説明していただきありがとうございました。漢方薬を服用する前は、お腹の張りが強く・食事・水分も思うように摂る事ができませんでしたが、今は、腹水が軽減し、食事も水分も美味しくいただけております。本当にありがとうございました。これからも宜しくお願いいたします。

腹水(大腸癌、肝臓癌による)のご相談

広島県にお住まいのKさん(42歳・女性)

ご相談されたときの症状・状態

大腸がん～肝臓転移～腹水に。

現在、利尿剤・アルブミン製剤を使用しているが、大きく変化なし。

健康食品で、フコイダン・AHCCなどを服用中。

腹水の影響で、腹部の痛みがあり、息苦しさも強く、食事も水分も殆ど摂れていない状態。

排尿量が1日で300CC~500CCくらい。

ご相談時の血液検査データ

腎機能	CRE	2.2
	BUN	52
炎症の数値	CRP	2.6
栄養数値	ALB	2.8
	リンパ球	10.0

利尿剤の長期服用で、腎臓の機能も低下し、現在、CREが2.2・BUN 52まで上昇している。

ご提案及び漢方のアドバイス

免疫力を向上する漢方薬
癌に伴う体内の炎症を抑える漢方薬
血液の質を整え血流を向上する漢方薬
腎機能を向上し水分代謝を高める漢方薬

改善期間：3ヶ月

変化が見られ始めた時期：2週間目

お客様の变化

腹部の痛み、息苦しさが軽減してきた。
腹水が軽減し、食事や水分量が増えてきた。
排尿量が増えてきた。

3ヶ月漢方薬を継続した血液検査データ

腎機能	CRE	2.2→1.5まで低下
	BUN	52→39まで低下
炎症の数値	CRP	2.6→1.7まで低下
栄養数値	ALB	2.8→3.4まで上昇
	リンパ球	10→18まで上昇

お客様より

漢方薬を服用する前は、腹水で体重が55kgもありましたが、現在は、52kgまで減りました。排尿量も増えてきましたので、今は、利尿剤の服用も中止しております。

お蔭様で、食事もしっかり摂れるようになり、疲れも随分と楽になりました。本当にありがとうございます。

胸水・腹水(大腸癌～肝臓転移による)のご相談

愛知県にお住まいのTさん(71歳・男性)

ご相談されたときの症状・状態

大腸がんで、肝臓に転移

1ヶ月前から腹水・胸水・むくみが発症

現在、お腹・下半身がパンパン状態で、身動きが殆ど取れない状態

食事も中々摂る事ができず、水分も少量しか飲むことができない

胸水もあるため、息苦しさもかなり強く、咳がとても酷い状態

ご提案及び漢方のアドバイス

腎機能を高め、体内の水分代謝を向上させる漢方薬1つ

癌に伴う炎症を抑制する漢方薬1つ

血流の質を整え、循環をよくする漢方薬1つ

肝細胞活性化のための必須栄養素群1つ

改善期間：腹水、胸水、浮腫がほぼなくなったのは、服用開始から2ヶ月後

変化が見られ始めた時期：1カ月半

お客様の变化

最初は胸水が軽減し、息苦しさ・咳の症状が軽減してきた

排尿量・排便量が増えてき

腫瘍マーカーの数値が下がってきた